

2017年11月26日 山木屋の住民の方たちと現状を共有するダイアログ
～ 国際放射線防護委員会 (ICRP)の協力による対話の継続～

山木屋の歴史と風土が生み出す地域の誇り ふるさと



近藤昭彦(チーム千葉大学)

山木屋房由より山木屋小学校方向を望む

阿武隈高地の2億年の歴史



千葉のチバニアンは
77万年～12.6万年

阿武隈高地の基盤が
できた時代にはまだ
日本海はなかった

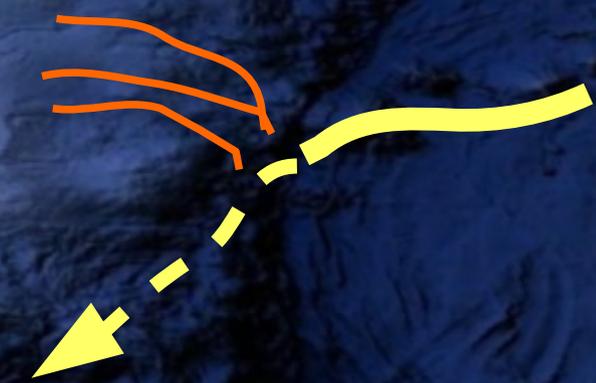
阿武隈高地



付加体

阿武隈高地の基盤は
ジュラ紀の付加体
大地には2億年に迫
る歴史がある

チバニアン

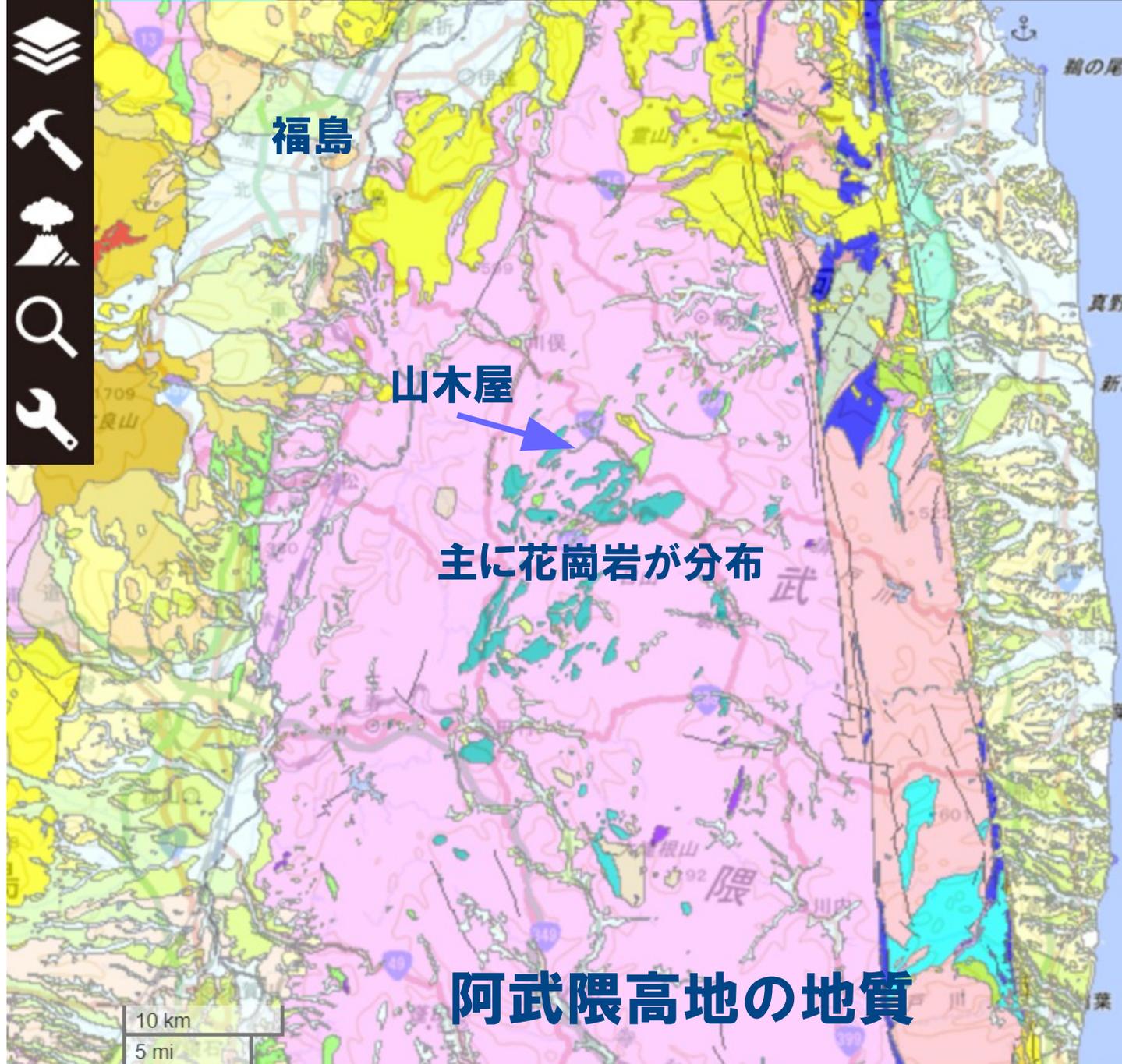


(C)Google

1億年前のマグマが花崗岩体を形成

日本シームレス地質図

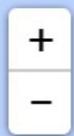
地質凡例一覧 使い方



N37.6001 / E140.6525

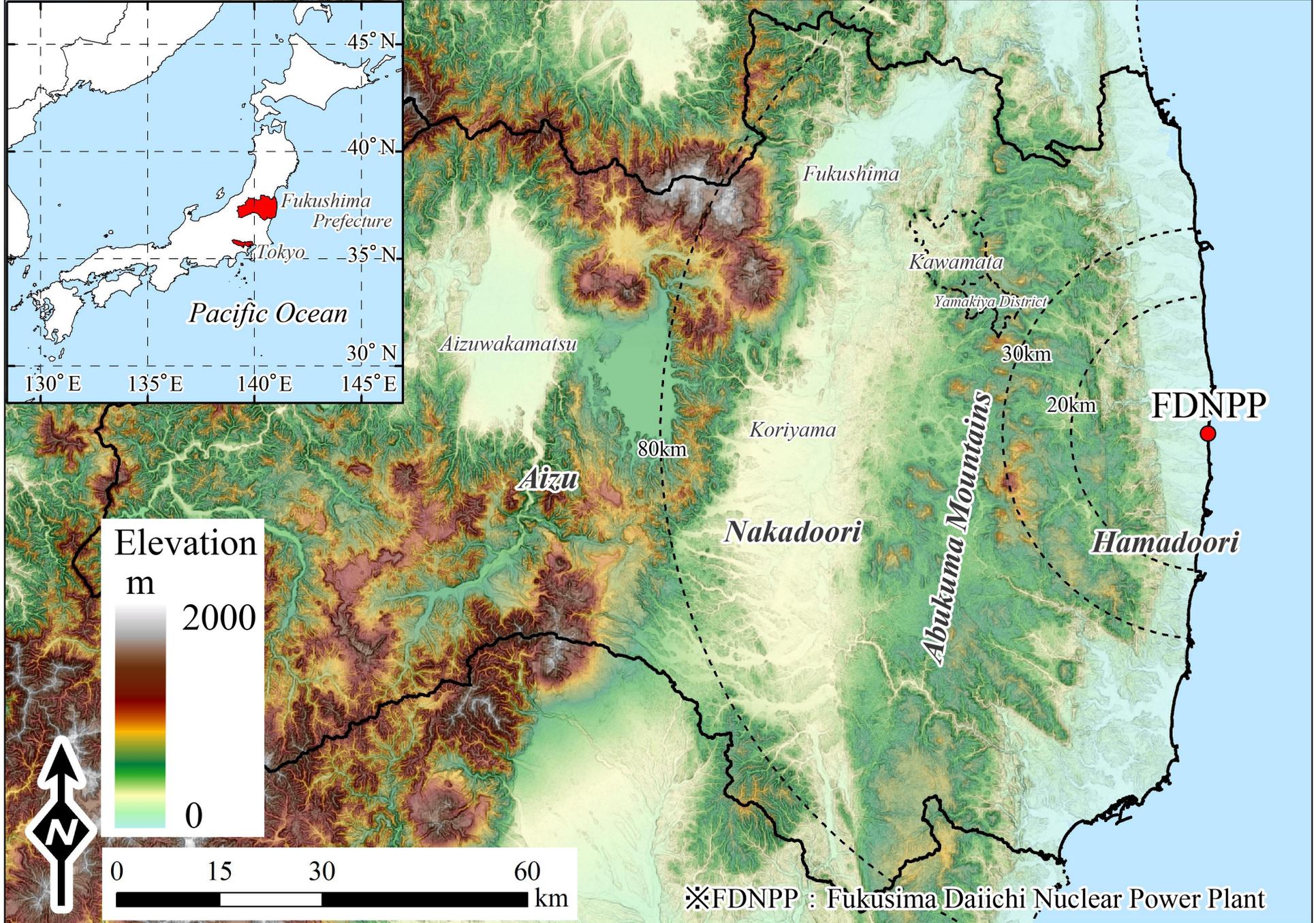
131 前期白亜紀(K1)の阿武隈花崗岩類

約1億4600万年前～1億年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった阿武隈花崗岩類



阿武隈高地の地質

悠久の時間がなだらかな地形を形成



一枚の写真が語る地域の歴史、特徴

<山木屋乙二地区、送電線尾根から東を望む>

飯舘村

深い谷が
少ない

浪江町

定高性をもった
平坦な尾根

二本松市

落葉広葉樹
尾根には赤松

一枚の写真に濃密な人と自然の関係性が記録されている
この関係性が山木屋の風土を形成してきた...

地形変化を
伴う開拓地

厳しい時代もありました

1947年米軍写真



**ヤマセの克服と
農業振興の歴史**

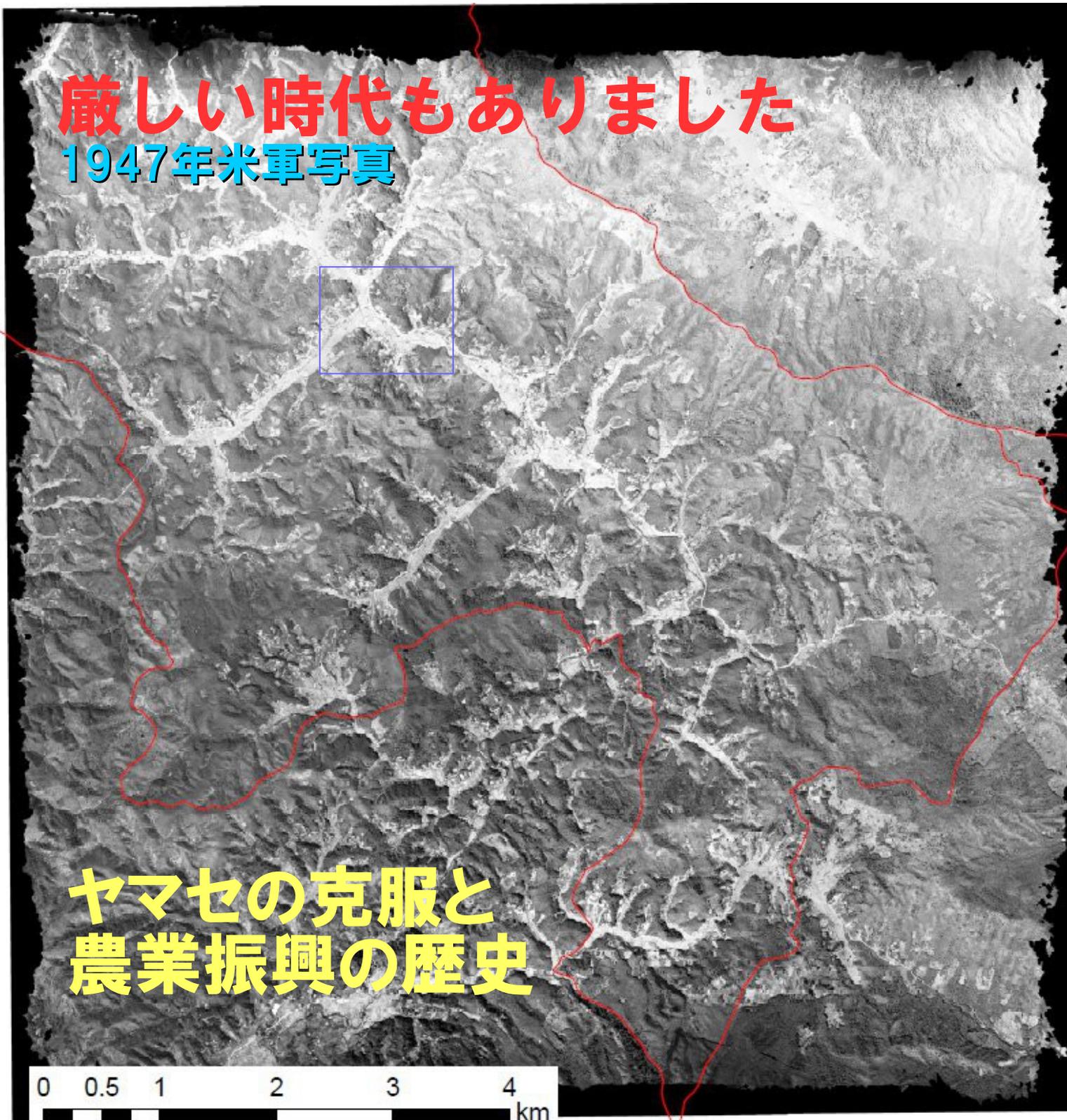
**水田圃場整備
—やませ克服—**

1947

1971

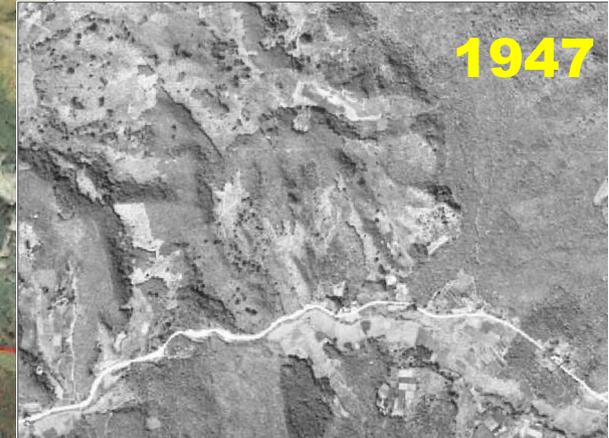
2007

0 0.5 1 2 3 4 km



1975年

山林利用 —里山の恵み—



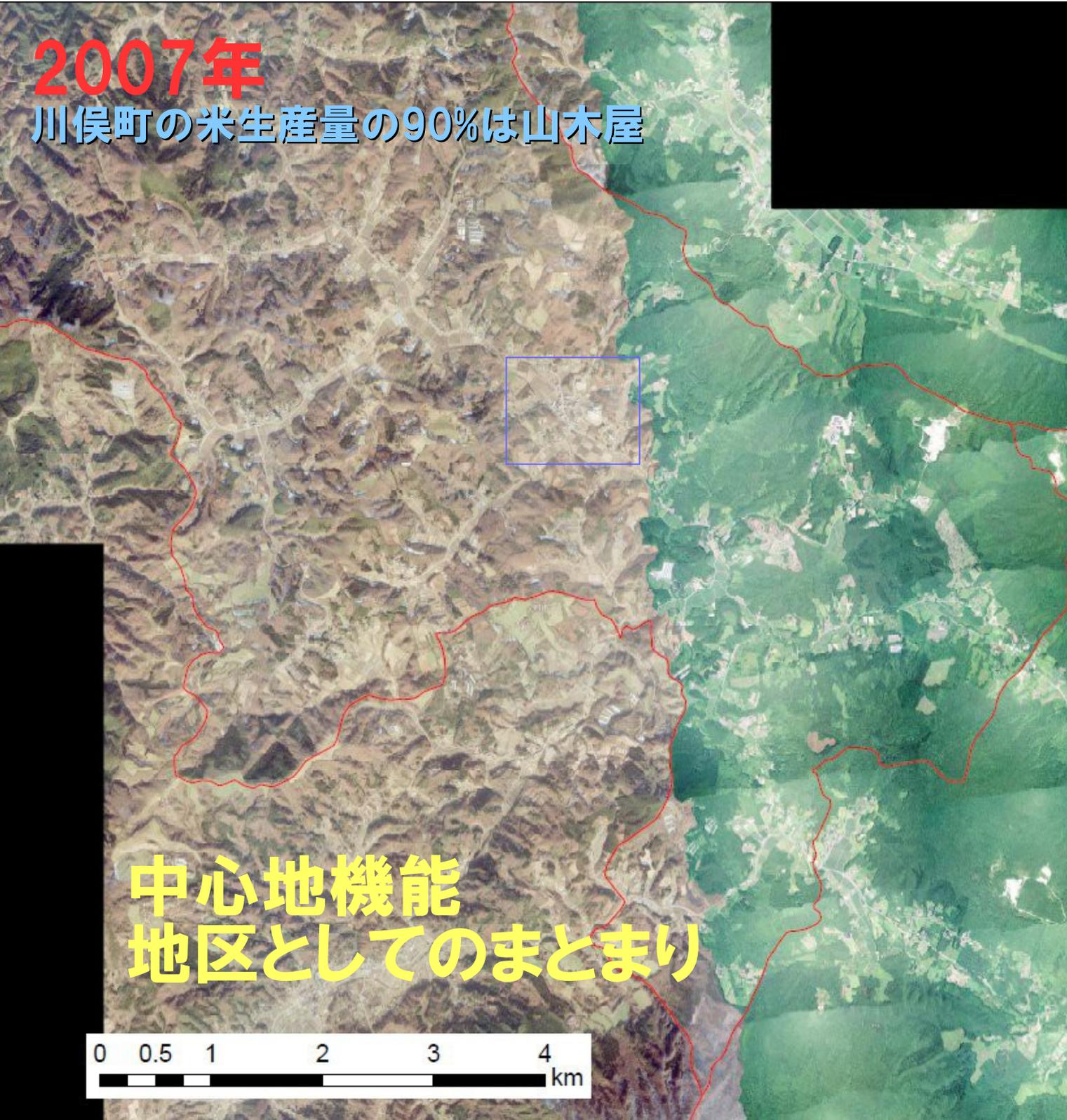
山村の暮らしの
回復・復興とは

0 0.5 1 2 3 4 km

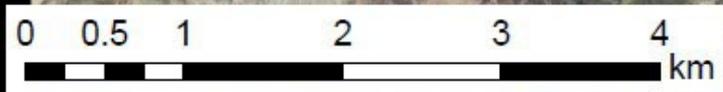
2007年

川俣町の米生産量の90%は山木屋

中心地の変化
学校・郵便局
農協、...

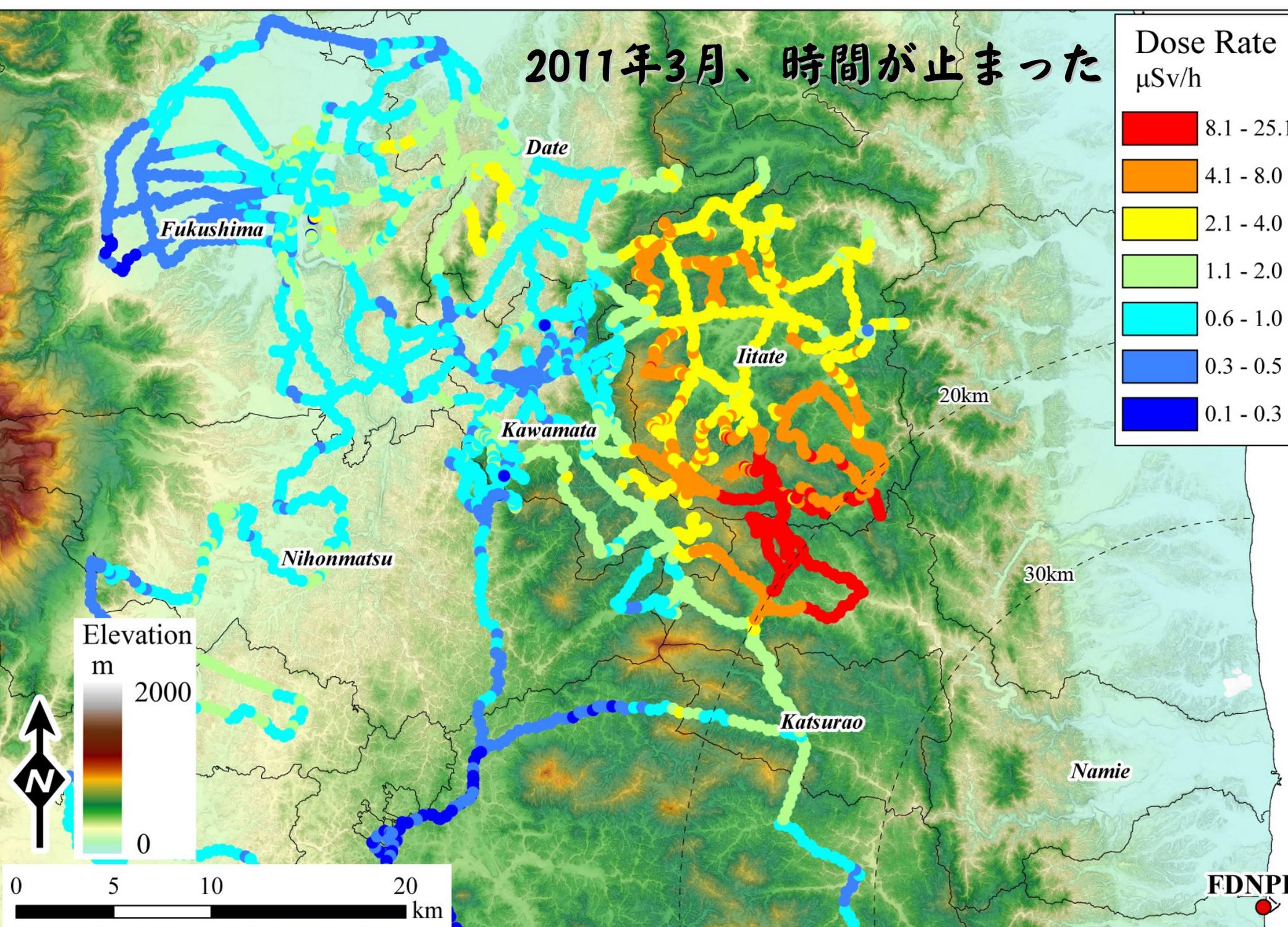


**中心地機能
地区としてのまとめ**

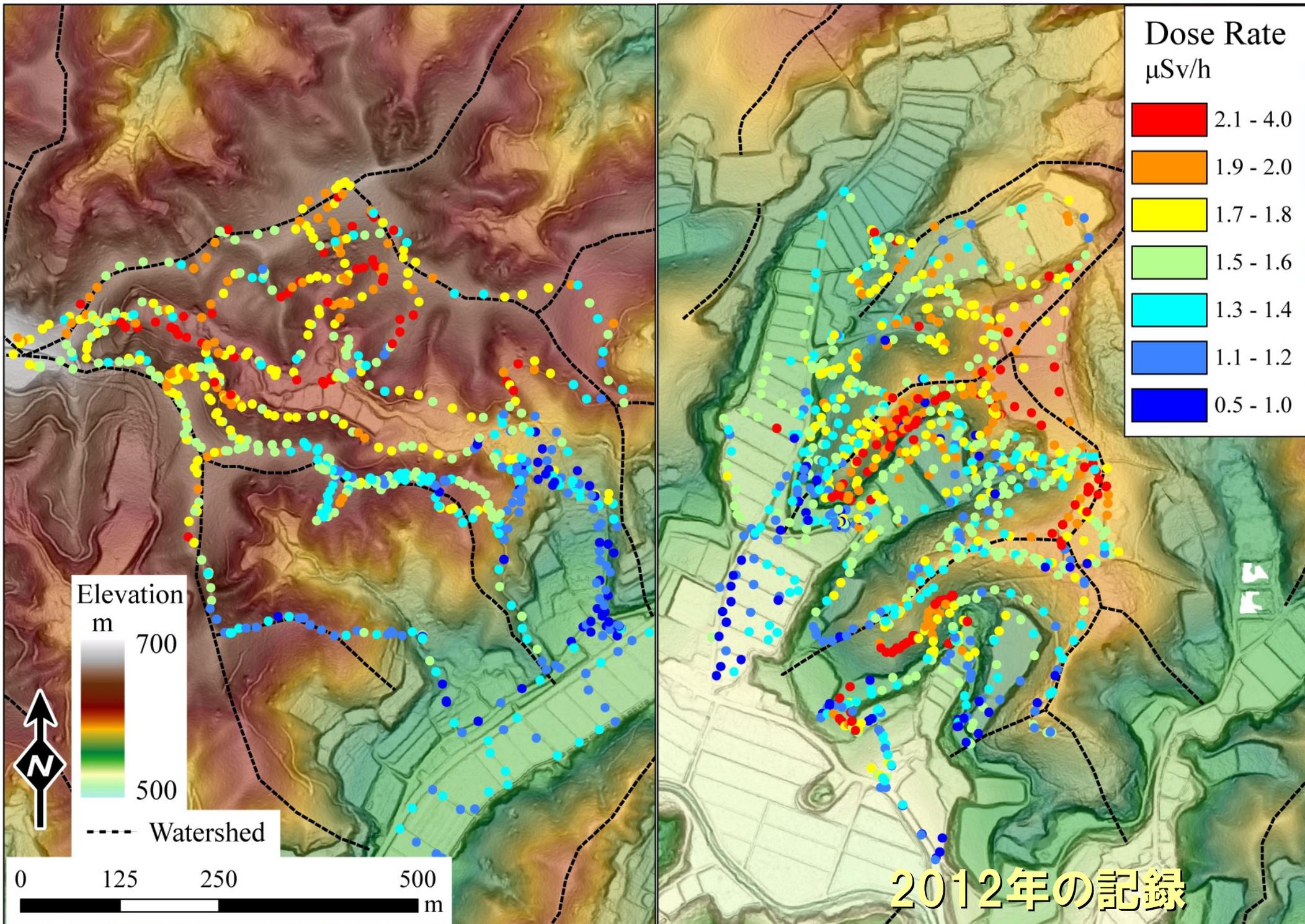


2011年6月～8月に計測された阿武隈高地北部、中通り北部の空間線量率

2011年3月、時間が止まった



歩いて測れば、ホットスポット、ホットゾーンがわかる そこを何とかする



●仕事、生業(なりわい)

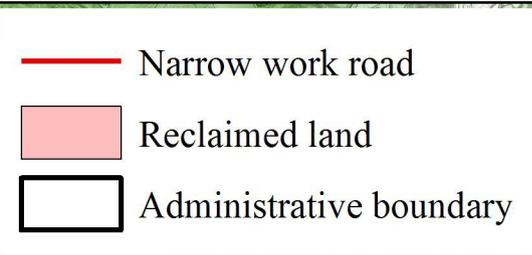
●遊び仕事、副業(マイナーサブシステム)

茸、山菜、川魚、山川との関わり

- (1) 最重要とされている生業活動の陰にありながら、それでもなお脈々と受け継がれてきている生業
- (2) 消滅したところで、たいした経済的影響をおよぼさないにもかかわらず、当事者たちの意外なほどの情熱によって継承されてきたもの(しかし、経済的意味が少しでもあることが重要)
- (3) きわめて身体的な、自然のなかに身体をおき身体を媒介として対象物との出会いを求める行為

(松井健)

山とともに に生きる

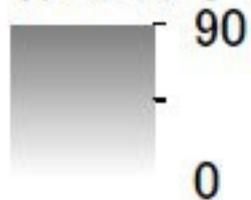


航空レーザー測量
による1m分解能
DEMによる判読

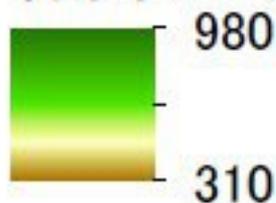
凡例



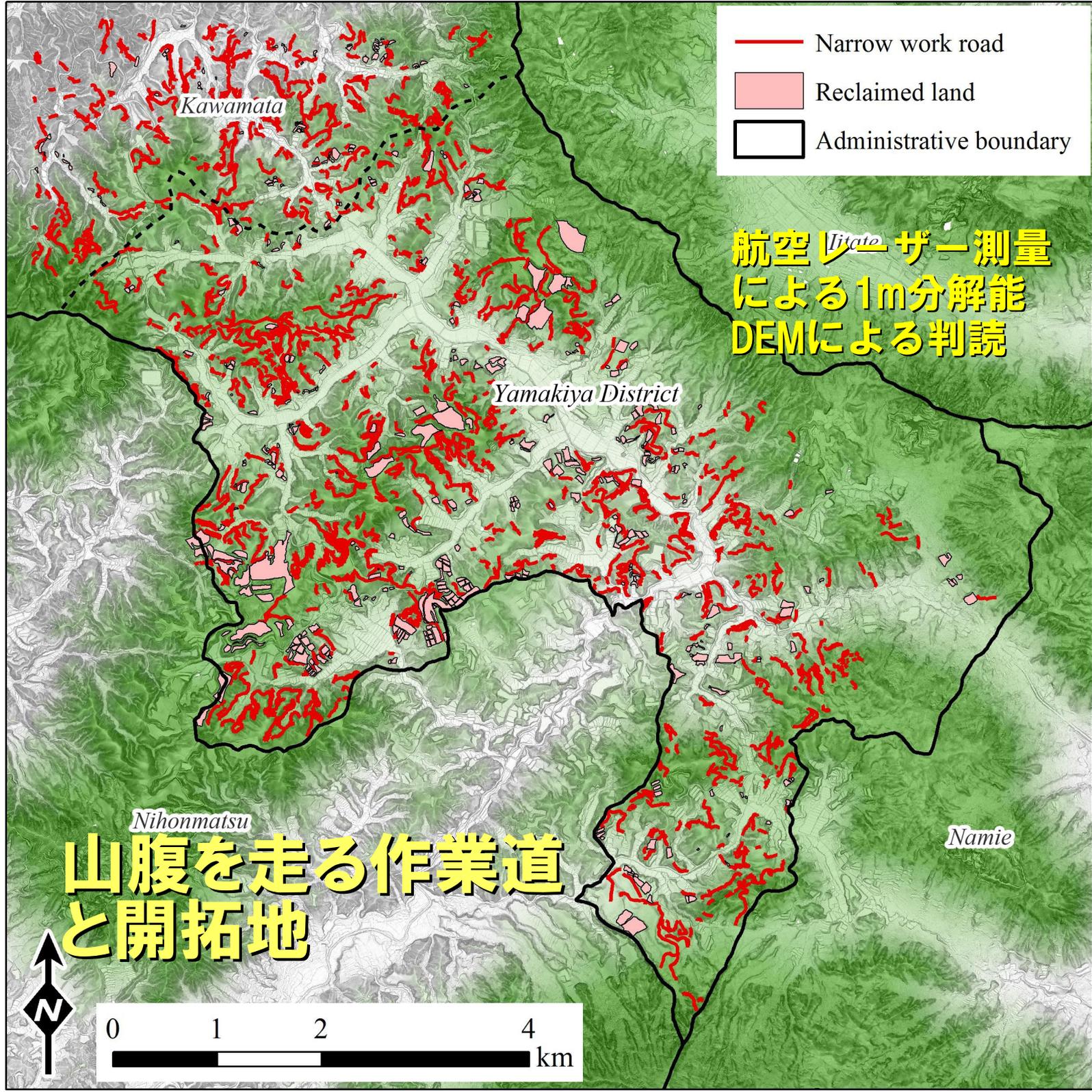
傾斜角(°)



標高(m)

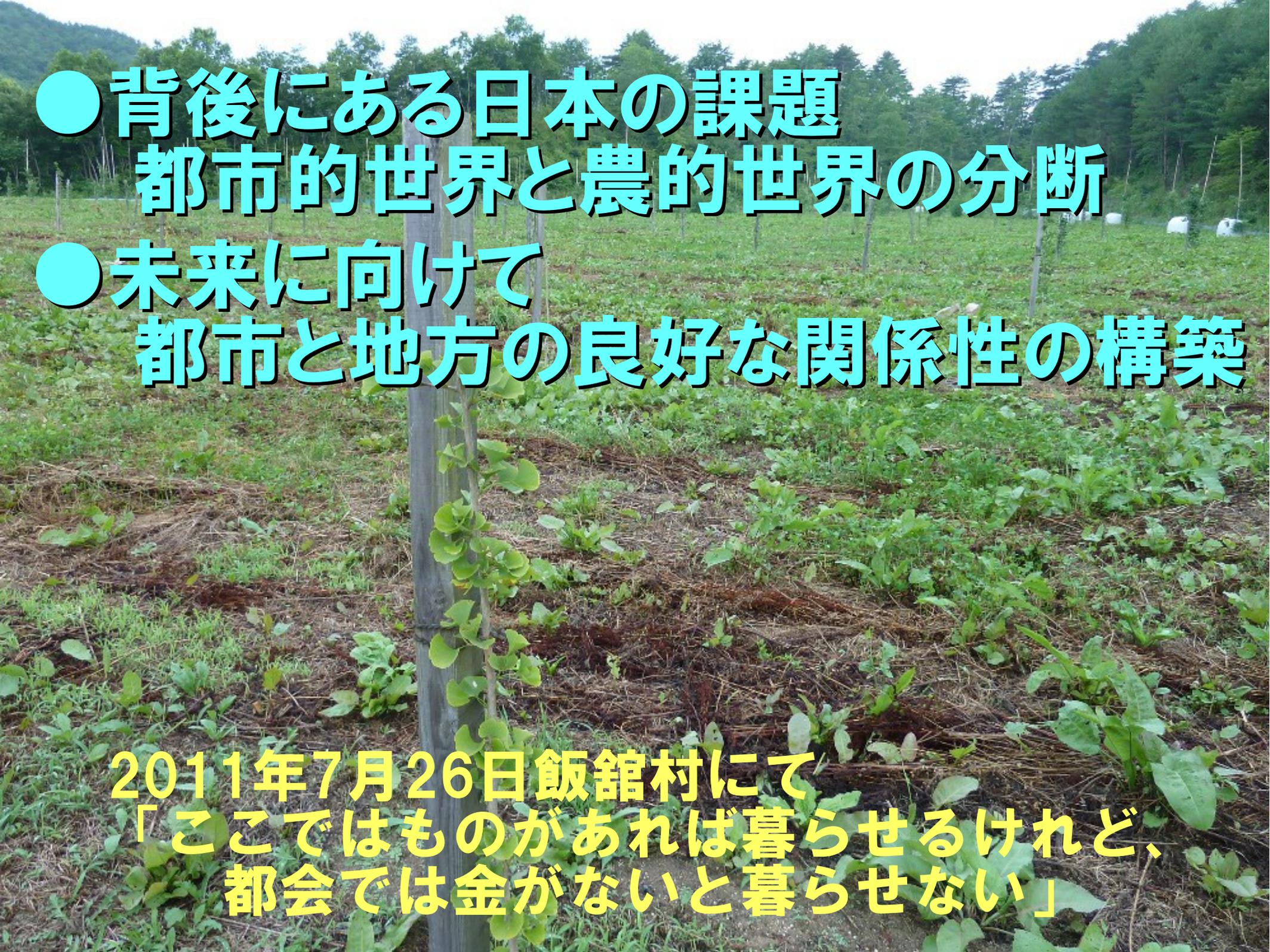


山腹を走る作業道
と開拓地



**ここには人と自然の密接な関係性があった
世代を超えて作り上げてきた
ふるさとに対する誇り**

**人と自然の関係性を伝えるのが学問の役割
山林を取り戻さなければならない**



● 背後にある日本の課題
都市的世界と農的世界の分断

● 未来に向けて
都市と地方の良好な関係性の構築

2011年7月26日飯舘村にて
「ここではものがあれば暮らせるけれど、
都会では金がないと暮らせない」

山木屋の歴史と風土が生み出す地域の誇り

山木屋を、「安心して、楽しく、
少し豊かに、そして、誇りを
持って生きる」ことができる地域へ

唯一の山木屋 One Yamakiya!

